

2016年度 第2四半期

不二サッシグループ 決算説明資料

2016年11月7日

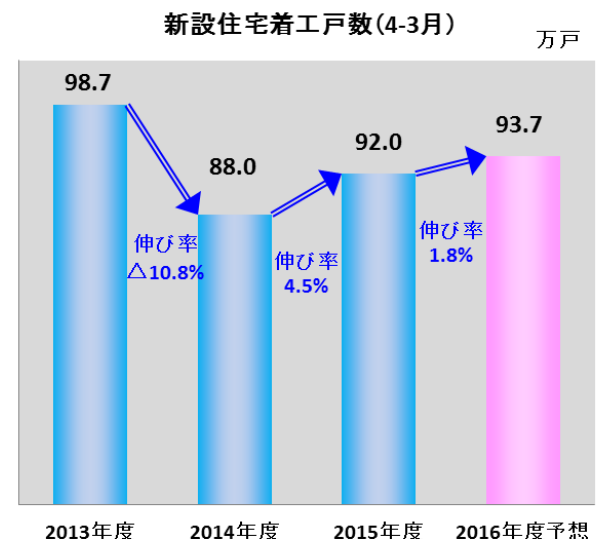
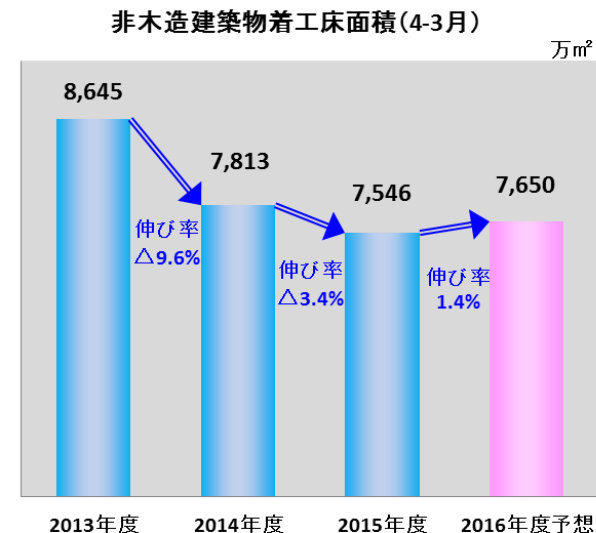
不二サッシ株式会社

I. 2016年度 第2四半期決算の概要

2016年度 における事業環境

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	8,645	7,813	7,546	7,650
前年比(伸び率)	8.2%	-9.6%	-3.4%	1.4%
新設住宅着工戸数(万戸)	98.7	88.0	92.0	93.7
前年比(伸び率)	10.5%	-10.8%	4.5%	1.8%

- 主にビルサッシ市場の指標となる非木造建築物着工床面積は、景気の緩やかな回復基調と東京オリンピック・パラリンピック等の潜在需要が見込まれるものの、技能労働者不足、労務・資材費の上昇などによる下振れ要因もあることを考慮し、期初予想の通り前年度対比で微増と見込んでいます。
- 住宅着工戸数は、2016年度は、期初時点で想定していた再増税前の駆け込み需要は延期によりなくなったものの、低金利政策、税金政策の影響を加味し、当初の予想通り微増を見込んでいます。



2016年度 第2四半期決算の業績について

【連結】 (百万円)

	2015年度上期		2016年度上期			
	実績		実績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	42,041		40,746		△1,295	96.9
売上原価	35,675	84.9	33,441	82.1	△2,234	93.7
売上総利益	6,365	15.1	7,304	17.9	939	114.8
販管費	6,024	14.3	6,374	15.6	350	105.8
営業利益	340	0.8	929	2.3	589	272.8
経常利益	81	0.2	620	1.5	539	764.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	-147	-0.3	311	0.8	458	-

- 第2四半期当社グループの業績は、主力とする国内建材事業においては市場動向や資材価格上昇、技能労働者不足等により先行きが不透明である一方、形材外販事業はアルミ地金市況や為替変動の影響があるものの国内物量の確保等により良化傾向、環境事業は概ね計画通りの推移となっています。
- その結果、売上高は前年同期比96.9%、利益面では営業利益は前年同期比5億8千9百万円増、経常利益は前年同期比5億3千9百万円増、当期純利益は前年同期比4億5千8百万円増となりました。

セグメント別 売上高

【連結】

(百万円)

売上高

	2015年度 上期実績	2016年度	
		上期実績	対前年比
建 材 事 業	28,849	28,367	98.3%
			△ 482
形材外販事業	10,512	9,960	94.7%
			△ 552
環 境 事 業	1,796	1,543	85.9%
			△ 253
そ の 他 事 業	883	874	99.0%
			△ 9
(消去又は全社)	—	—	—
合 計	42,041	40,746	96.9%
			△ 1,295

■ 売上高増減分析(前年比)

2015年度上期

420.4億

国内ビル新築

△6.7億

リニューアル

+4.5億

住宅建材

△2.2億

国内形材外販

△4.3億

環境事業

△2.5億

その他

△0.1億

海外ビル新築

△0.5億

海外形材外販

△1.3億

2016年度上期

407.4億

△13.0億

+4.5億
△17.5億

- 建材事業の売上高は、リニューアル事業における建築需要を取り込んだものの、ビル新築事業や住宅建材事業の売上減少により、合計では前年同期比98.3%となりました。
- 形材外販事業の売上高は、国内物量は前年比107.9%の18,617トンと増加したものの、海外事業の縮小やアルミ地金市況、為替変動の影響などにより、前年同期比94.7%となりました。
- 環境事業の売上高は、工期の長いプラント物件の完了工事が少なかったことなどから、前年同期比85.9%となりました。

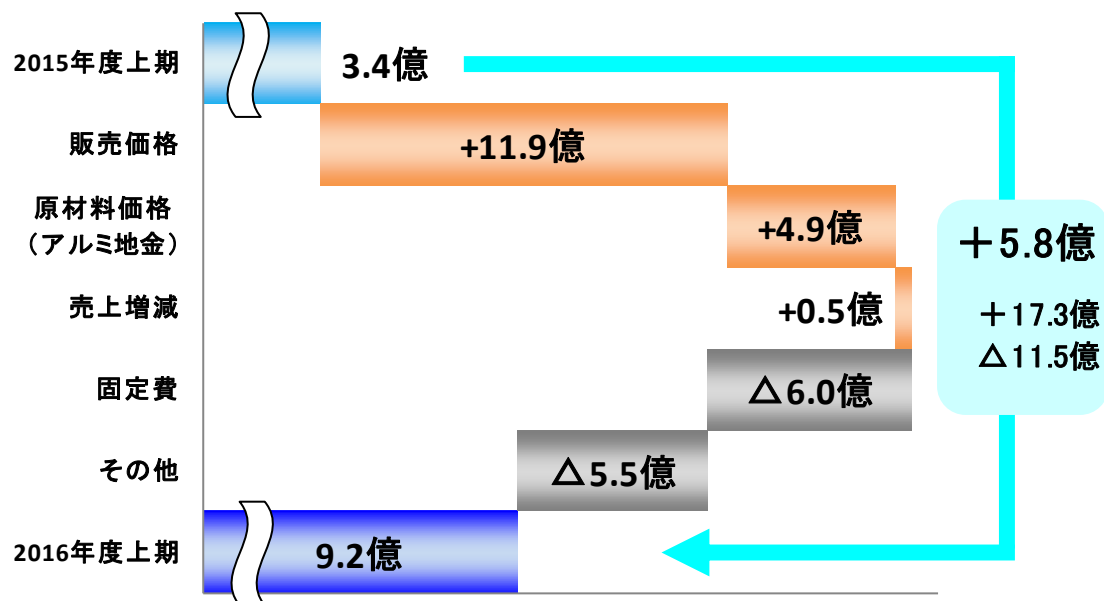
セグメント別 営業利益

【連結】

(百万円)

	営業利益		
	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	対前年比
建 材 事 業	1,236	1,269	102.7%
			32
形材外販事業	△ 223	283	—
			506
環 境 事 業	△ 89	23	—
			112
そ の 他 事 業	49	45	91.8%
			△ 4
(消去又は全社)	(632)	(691)	(59)
合 計	340	929	273.2%
			589

■ 営業利益増減分析(前年比)



- 営業利益の増加要因は、徹底した営業プロセス管理の定着および形材外販事業の国内物量増加等により販売価格で+11.9億円、アルミ地金など原材料価格の低下で+4.9億円、売上の増減+0.5億円となり、合計で17億3千万円となりました。
- 減少要因は、固定費増で△6.0億円、その他で△5.5億円、合計で11億5千万円となりました。
- 営業利益全体では、前年同期比273.2%、5億8千9百万円増益の9億2千9百万円となりました。

2016年9月 決算財務状況

(百万円)

	2016年 3月末	2016年 9月末	前期末比
現預金	13,314	12,587	△726
総資産	83,217	80,657	△2,560
利益剰余金	10,255	10,440	185
純資産	12,449	12,764	315
自己資本	12,305	12,634	329
有利子負債	21,955	20,479	△1,476
自己資本比率(%)	14.8	15.7	0.9
1株あたり純資産(円)	97.5	100.1	2.6

II. 2016年度(平成29年3月期)の業績予想

2016年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

	2015年度		2016年度			
	実績		予想		前年比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	97,704		97,000	100.0	△704	99.3
営業利益	2,603	2.7	2,600	2.7	△3	99.9
経常利益	2,233	2.3	2,400	2.5	167	107.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	1.3	1,400	1.4	124	109.7

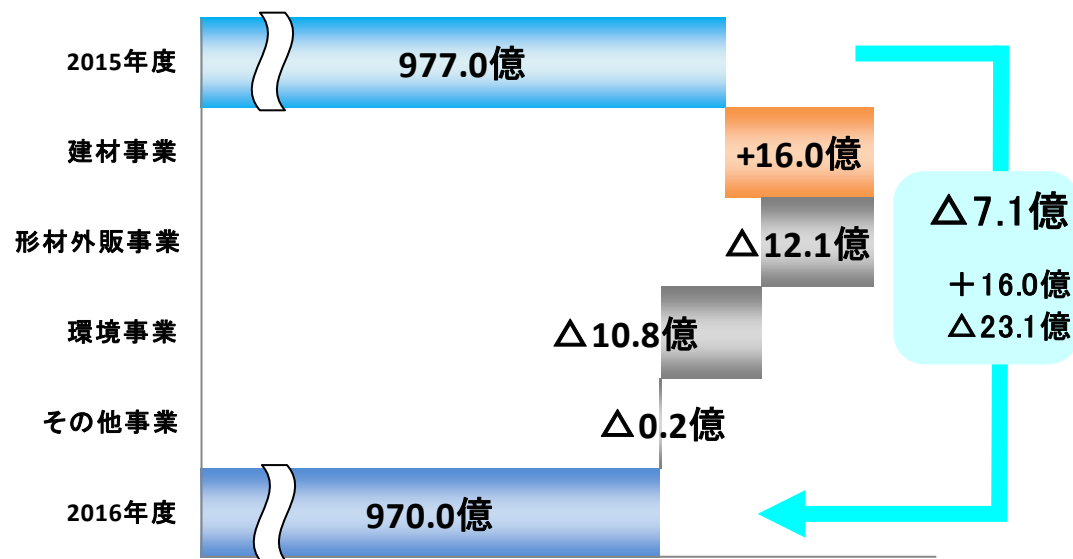
2016年度 連結通期業績予想 – 売上高

【連結】

(百万円)

	売上高		
	2015年度 通期実績	2016年度 通期予測	対前年比
建 材 事 業	69,800	71,400	102.3% 1,600
形材外販事業	21,505	20,300	94.4% △1,205
環 境 事 業	4,579	3,500	76.4% △1,079
そ の 他 事 業	1,818	1,800	99.0% △18
(消去又は全社)	—	—	—
合 計	97,704	97,000	99.3% △704

■ 売上高予想増減分析(前年比)

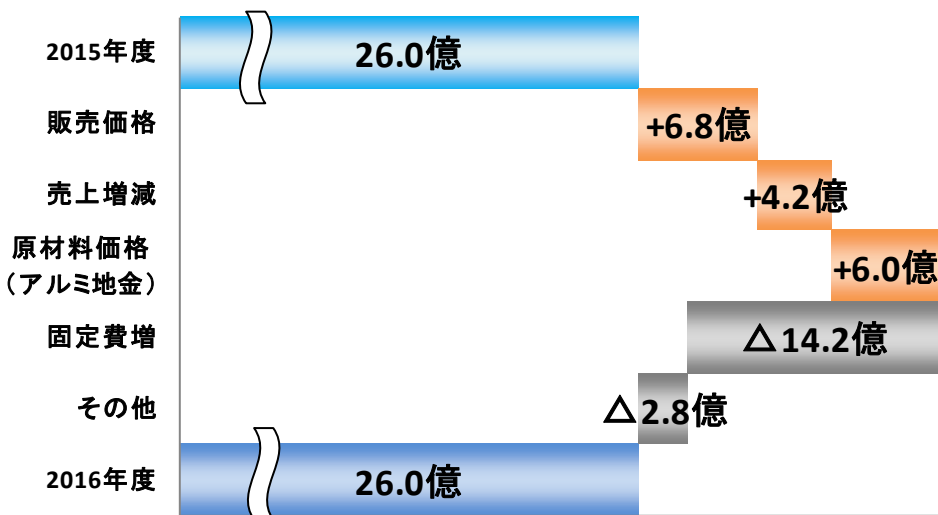


- 建材事業は、リニューアル事業の強化およびビルサッシ事業の短納期物件等の受注獲得に引き続き注力することで、前年同期比102.3%と見込んでいます。
- 形材外販事業は、競争力を高め拡販により物量を確保しておりますが、海外での事業縮小やアルミ地金市況及び為替変動により前年同期比94.4%と見込んでいます。
- 環境事業は、競争激化などから利益確保の営業活動を重視しており、前年同期比76.4%と見込んでいます。

2016年度 連結通期業績予想 – 営業利益

【連結】 (百万円)			
営業利益			
	2015年度 通期実績	2016年度 通期予測	対前年比
建 材 事 業	4,075	3,300	81.0% △ 775
形材外販事業	△ 398	480	— 878
環 境 事 業	36	140	388.9% 104
そ の 他 事 業	139	70	50.4% △ 69
(消去又は全社)	(1,249)	(1,390)	(141)
合 計	2,603	2,600	99.9% △ 3

■ 営業利益予想増減分析(前年比)



- 営業利益は、中期経営計画『躍進』の収益拡大施策及び徹底した営業プロセス管理の推進、利益確保の営業活動を継続し、原材料価格の低下の影響も見込んでおりますが、事業強靱化のための設備投資および研究開発にともなう固定費上昇などのコスト増加により、前年並みの26億円を見込んでいます。

III. トピックス

メガソーラーシステム設置

2016年7月1日

- 不二サッシ株式会社は、千葉事業所およびグループ傘下の関西不二サッシ株式会社にメガソーラーシステムを設置し、発電を開始しました。
- 千葉事業所は2014年3月から第1発電所が稼働しており、発電量は合計2,752kWと屋根置きタイプとしては市原市最大のメガソーラー設備となります。
- メガソーラー設置にあたり、それぞれの生産工場棟の特性に対応した耐震補強工事を施工し、東西基幹工場の安全・安心の確保とBCP（事業継続計画）活動を前進させました。
- 今後も安定した製品の供給体制を強化するとともに、環境方針に基づき環境負荷低減（CO2削減）に向けた活動を推進してまいります。

■ 千葉事業所 第2発電所

- ・ 事業所名称：不二サッシ株式会社 千葉事業所
- ・ 所在地：千葉県市原市八幡海岸通13
- ・ 設備規模：出力1,375.0kW
- ・ 発電量は一般家庭360戸分の消費量に相当
- ・ CO2削減量は、471t/年に相当

■ 関西不二サッシ 太陽光発電所

- ・ 事業所名称：関西不二サッシ株式会社
- ・ 所在地：大阪府高槻市下田部町2-55-1
- ・ 設備規模：出力1,028.1kW
- ・ 発電量は一般家庭300戸分の消費量に相当
- ・ CO2削減量は、392t/年に相当



千葉事業所 第2発電所



アウトフレーム式 耐震補強



関西不二サッシ 太陽光発電所



スチールプレート式 耐震補強

環境配慮商品のショールームをリニューアルオープン

2016年8月1日

- 不二サッシ株式会社は、このたび東京・京橋の東京スクエアガーデン6階 京橋環境ステーション「エコテクカン」内のショールームをリニューアルオープン致しました。

「エコテクカン」は、地球環境にやさしい省エネや自然エネルギーの活用技術、環境配慮型の新商品など日本企業が世界に誇る最先端エコテクをわかりやすく展示・紹介しています。

- 不二サッシブースでは、開口部と照明を融合させ新しいファサードやエントランスを造る「ALBEAM SYSTEM(アルビームシステム)」や、自然の風と光を取り込めるウィンドウリフォームシリーズ「エコアマド」などの、実際に見て確認したいという要望の多い商品を常設展示しています。



■ 展示内容

・ ALBEAM SYSTEM

アルミ建材とLED照明を融合した不二サッシ独自の商品シリーズ

・ LED PRODUCTS

独自開発し、グッドデザイン賞を受賞した薄型LEDモジュールによる商品

・ エコ引違い雨戸スピーディ

外付けブラインドと同様に日射の侵入を大幅にカットでき、角度が自由に変えられるルーバーの採用により、時間帯や暮らしに合わせて採風や採光を自在にコントロールすることで、できるだけエアコンに頼らない生活をお手伝いする環境配慮型商品

■ 所在地

・ 京橋環境ステーション「エコテクカン」(京橋駅直結)

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1-1

東京スクエアガーデン6階

TEL : 03-6262-0980 / FAX : 03-3231-5330

■ 「エコテクカン」開館時間

- ・ 10 : 00 ~ 17 : 00 (土日祝日、年末年始、ビル閉館日を除く)

山口不二サッシ「新社屋・第2工場」完成

2016年8月5日

- 不二サッシグループの山口不二サッシ株式会社（代表取締役社長：斉藤伸二 山口県山口市）は今年初めから建設を進めておりました新社屋並びに第2工場の工事が完了しました。
- 山口不二サッシ株式会社は1990年の設立以来、当社グループの山口地区における製販一体の拠点として成長して参りました。
- 第二工場の完成により、エコ商品をはじめとした不二サッシグループの環境配慮型商品の主力工場としての役割を果たします。
- 今後は、事業体制および商品力の強化を図り、更なる事業拡大を目指して参ります。



沖縄不二サッシ「新社屋・新工場」完成

2016年11月1日

- 不二サッシグループの株式会社沖縄不二サッシ（代表取締役社長：大湾章 沖縄県うるま市）は今年3月から建設を進めておりました新社屋並びに新工場の工事が完了しました。
- 株式会社沖縄不二サッシは1971年の設立以来那覇近郊に事業所を構え、当社グループの沖縄地区における製販一体の拠点として成長して参りました。
- 今般新たにうるま市の中城港湾新港地区工業団地に新社屋・新工場を建設したことにより生産能力は倍増、需要拡大が見込まれる沖縄地区（離島を含む）における積極的な事業展開の準備が伴い、地産地消の基盤が確立できました。
- 今後は、事業体制および生産商品内容の充実を図り、更なる事業拡大を目指して参ります。

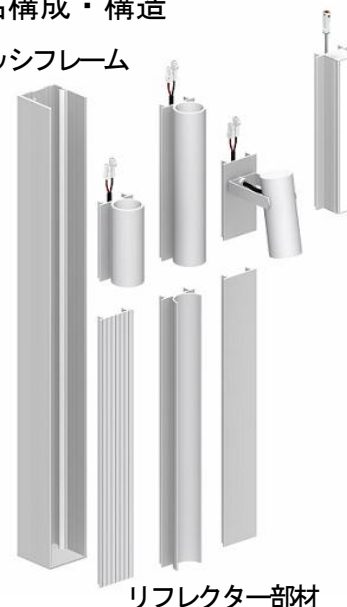


エントランスに様々な光の演出を加える ALBEAM L-Draw(アルビームエルドロウ)を発売

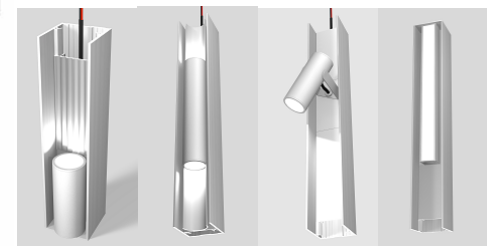
2016年8月29日

- 不二サッシ株式会社は、開口部と照明を融合させ新しいファサードやエントランスを造るLED建材ALBEAM SYSTEM (アルビームシステム)に、新たに建物のエントランスやショップ空間に様々な光の演出を加えるALBEAM L-Draw(アルビームエルドロウ)を開発、販売を開始しました。
- ALBEAM L-Draw(アルビームエルドロウ)はショップフロントやカーテンウォールの室内側に、様々な照明演出を可能にする4種類の照明ユニットと、美しい間接光を生むリフレクター部材を自由に組み込めるようシステム化した建材シリーズです。
- 商品名の「L-Draw エルドロウ」は、『灯り(Light)を自由自在に描く』という意味合いを持っています。

商品構成・構造
サッシフレーム



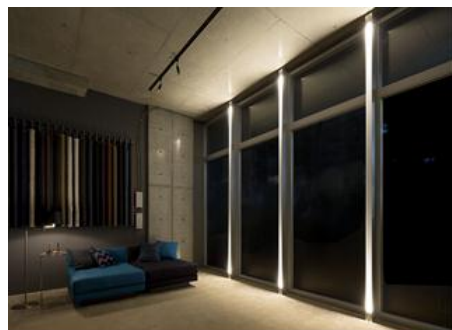
照明ユニット



組合せ例

(左からブラケットライトSingle、ブラケットライトDouble、スポットライト、ラインライト)

施工例





3商品が2016年度グッドデザイン賞を受賞
「アルビーム・エルドロウ」／「アルビーム・自動ドア」／「ブラケットライト」

2016年10月31日

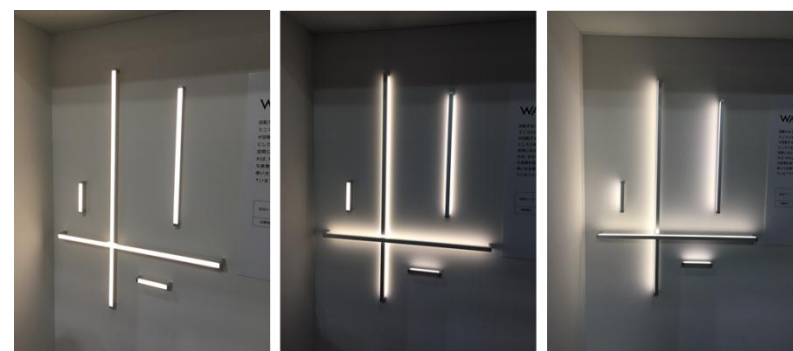
◆ アルビーム・エルドロウ ◆ アルビーム・自動ドア ◆ ブラケットライト



- アルビームエルドロウは、サッシ室内側のフレームに様々な照明ユニットとリフレクター部材を組合せることで、建物のエントランスやショッピンテリアの空間設計、演出照明に新しい考え方を提案する商品です。



- アルビーム自動ドアは、建物の出入り口に設置される自動ドアにLEDを一体的に組み込み、従来の機能・意匠を満足しながら、開口誘導、注意喚起などの新たな要素を加えた付加価値の高い商品です。



- ブラケットライトは、アルミ押し出し型材の本体と、アルミ削り出しでできた持ち出し金具で構成された商品です。固定された持ち出し部分に対し、本体部分は90°単位で回転することが可能で、発光面の方向を自由に変えられることで、間接照明としても直接照明としても使用できる構造となっています。
- ミニマルなデザインとすることで、単体での利用を想定しつつ、様々なサイズを組合せてレイアウトすれば、アートのような演出までも可能になり、壁に固定する照明でありながら空間やユーザーを選ばず使用できる商品です。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ